

東都農地域資源マップ

作成：Aグループ5班

ソーラーパネル



橋の下の方にあった。かなりの数があったので、効率よく太陽光を集めて多くの電気を集められる。



新しく作られている道を発見！

無人販売所



新鮮な野菜売り場があった。この地域には、スーパーやコンビニがないので、住民にとっては大切な購入場所である。

普段宮崎市内で見かける宮交バスのバス停とは違って、地域福祉バスと書かれたバス停がなかったので調べてみたところ、都農町内を巡回するコミュニティバスが運行していることがわかった。通学路線および生活路線の確保のため、バス3台体制（14人乗り中型ワゴン）で、土日祝日及び年末年始を除き、巡回しているようだ。私たちの実習地域は町民の年齢層が高いうえ、買い物にいけない場所もないように見受けられたので、このようなサービスがあることは町民にとってとても助けになっていると考えられる。



地域福祉バス



利用料金
1人1回
200円
小学生以下
100円

空き家



空き家がいくつかあった。この場所は取り壊したり、改修工事を行ったりすることで有効利用できるのではないだろうか。

心見地区の災害対策

防災倉庫



東都農では、公民館横に防災倉庫が置かれており、防災意識の高さを感じた。海拔が27mと高いところもあれば、海拔が12mのところもあり、高齢者の方が多い地域でもあるので今後も防災対策が必要になると感じた。

海拔表示看板



また、道を歩いていると海拔表示看板を見つけた。海拔表示看板は日常的に目につきやすいところに設置されていて、地域の防災力向上にも繋がると思うのでもっと設置を増やしていくとよいと考えた。

<コメント>

今回の実習を通して、心見・黒萩地域の現状を知ることができた。町の雰囲気は非常にのどかで自然豊かだった。地域住民の方の話では作物について聞くことができゅうり・カボチャ・ニラ・メロン・トマト・ネギ・千切り大根など多くの種類が作られていた。また、海拔の表記が電柱にあたり黒丸公民館に防災倉庫があるなど防災意識の高さも分かった。課題面としては「高齢化」「医療」「買い物」の3つがあると思った。高齢者の割合が高い地域なのに、近場で買い物をするところが無かった。医療では、町病院はあるが専門的な病院がないため遠くまでいかなければならないという点である。